

STM工法 (Steel tunnel method)

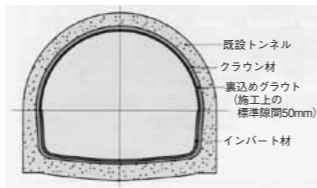
日鉄パイプライン&エンジニアリング (株)

既設トンネルと相似形に加工した鋼板を持ち込み溶接による一体構造のトンネルを構築する工法です。馬蹄形トンネル、ボックスカルバート、樋管、開水路に適用できます。

適用サイズ800mm～5,000mmそれ以上については要相談。

【工法の特長】

- (1) 鋼板の板厚は、土圧、水圧等の既設覆工に作用する荷重をもとに決定していますので、強度面での機能を回復することができます。
- (2) 老朽化した既設覆工の部分撤去等を行うことなく、鋼板を設置しますので、施工中、地山の崩落等の危険がなく、安全な施工が可能です。
- (3) 鋼板設置後、内面塗装が施されることにより、トンネル内の粗度が改善されますので、通水性能の回復・向上が図れます。



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。